



ICANN74 政府諮問委員会(GAC) リモート会合報告

2022年7月28日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

森下 大

目次

1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要
2. 主な議題
3. その他

1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要

- ① 開催日:2022年6月13日(月)~6月16日(木)
※ 2022年の2回目 (B会合:ポリシーフォーラム)
- ② 開催地:オランダ ハーグ
→ 初めて現地とオンラインのハイブリッドで開催
- ③ 出席者:71か国・地域の政府、5の国際機関等(オブザーバー)
- ④ 主な議題:
 - (1) DNS不正利用 ← **総務省から発表を実施**
 - (2) 新gTLDの次回ラウンド
 - (3) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合
 - (4) その他

2. 主な議題

(1) DNS不正利用

1. 概要

- DNS ABUSE INSTITUTEより、作成したDNS不正利用報告ツール(Netbeacon)の説明があった。
- 日本からDFFT(Data Free Flow with Trust)の考え方を共有するとともに、海賊版サイトのレジストラホッピングに関する最近の傾向を紹介し、DNS不正利用に関する対処の検討を提案した。
→ 総務省の発表に基づく内容が、GACのコミュニケ(成果文書)に記載された。
- LAUREEN KAPIN(PSWG共同議長)より、DNS不正利用の対応に向け、ICANNとレジストリ・レジストラとの契約について、DNS不正利用への対処を義務化する改正の検討の提案について発言があった。

2. 総務省からの発言

(参考) <https://gac.icann.org/presentations/ICANN74 - DNS Abuse Mitigation.pdf>

- DNS不正利用に関して、事案を紹介するとともに、対応策の検討について提案を行った。

紹介事案(いずれも日本の調査によるもの)

- ◆ ドメイン名を不正利用する者によるレジストラやドメイン名の移転が早まっている。
- ◆ 不正利用に特定の数社のレジストラが利用されている。
- ◆ レジストラは、自社で登録したドメイン名が不正利用されていることを認識していない。

日本からの提案

- ◆ レジストラが収集する登録者情報の正確性の確保、レジストラによる適切な調査・措置の要請に関して、ICANNとレジストラによる契約(RAA)の遵守の促進と契約改正の検討
 - ◆ ICANNコンプライアンス部門による監査※1の継続と監査後のフォローアップの継続的实施
- DFFT※2の概要を発表し、DFFTの考え方を共有した。

※1 (監査報告書)<https://www.icann.org/en/system/files/files/compliance-registrar-audit-report-2021-24aug21-en.pdf>

※2 2019年のダボス会議やG20大阪で提唱された「データ提供者・使用者の信頼を獲得し、データの自由な流れを促進するため、プライバシー、知的財産、セキュリティ等、配慮すべき課題への対処するという考え方。」

2. 主な議題

(1) DNS不正利用

3. 主な発言

【LAUREEN KAPIN PSWG共同議長の発言】

- DNS不正利用の問題は、GACやPSWGだけでなく他の委員会や組織でも議論されている。
- ICANNとレジストリ・レジストラの契約の改正は、過去のGAC会合でも議論されており、ICANNコンプライアンス部門も、DNS不正利用への対処を義務化するような内容を明言することは難しいが、契約の改正は可能と認識している。
- DNS不正利用に対応するために、ICANNとレジストリ・レジストラとの契約の改善に関する検討と契約の改正について多くのステークホルダーと意見交換が重要である。

【Gramae Bunton(DNS Abuse Institute取締役の発言)】

- DNS不正利用には様々な種類があり、複雑な構造をして分析が難しいものもある。また、レジストリ・レジストラが受け取る不正利用の報告の内容が分かりづらいものも多い。
- Netbeaconは、一般利用者から提出された報告書を標準化し、不足している情報をレジストラが所有している情報で補足し、より正確性のある報告書を作成するツールである。
- DNS Abuse Instituteは、NetbeaconをccTLD事業者や電子メールサービスプロバイダ、CDN事業者などと協力して、インターネットをより安全な環境とするための公共財となるように取り組んでいきたい。

2. 主な議題

(2) 新gTLDの次回ラウンド

1. 概要

- 新gTLDの新規申請の際、WHOISへ登録するデータについて、GNSOにおけるICANNの政策検討や政策に対するGACとしての助言の内容を検討する。
- 新gTLDの登録やSSADの運用、登録データの正確性に関する政策評価について、GAC内で検討していく。

2. 主な議論

- LUISA PAEZ(GAC副議長)より、新gTLDの導入に向けて、エンドユーザーの代表であるAt-Large委員会のメンバーにも議論への参加を求めたいこと、GNSOが新gTLDの導入への議論として新しい視点をもたらすファシリテーターの参加を求めたい旨の発言があった。
- Karen Lentz(ICANNスタッフ、gTLD関係の担当)より、新gTLDの運用設計フェーズの最終報告書を2021年にGNSO評議会承認されて、報告書をICANN理事会へ提出したこと、報告書に基づき、ICANNスタッフが運用設計に関する作業を行っている旨の発言があった。
- Samuel Abrijani Pangerapan(インドネシアのGAC代表)より、新gTLDを審査する際、政治的な問題や地理的な名称など、センシティブな問題について検討する必要があり、センシティブな内容を含む言葉を識別できるようなシステムは必要だと考えるという旨の発言があった。

2. 主な議題

(3) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合

1. 概要

- ICANNの分野別トップレベルドメイン支持組織(Generic Names Supporting Organization:GNSO)とGACの双方が関心を持つ政策問題(EPDP Phase 2A、データの正確性、DNS不正利用等)について議論した。

2. 会合における主な議論

- Philippe Fouquart (GNSO評議委員会委員長)より、GNSO評議会が新gTLDの導入に関する議論にAt-Large委員会の参加を求める理由として、これまでGNSO及びGACで議論してきた新gTLDへの導入の議論に、エンドユーザーの代表であるAt-Large委員会の意見をインプットすることが重要であり、ICANNの政策決定理念であるマルチステークホルダープロセスにも寄与する旨の発言があった。
- Manal Ismail(GAC議長)より、DNS不正利用に関するGNSOのスモールグループによる政策策定の現状に関する質問があり、GNSOメンバーからDNS不正利用に関する政策決定プロセスに参加し、意見をもらいたい旨の発言があり、GACから何らかのインプットがあるものと思われる。
- Sebastian Ducos(GNSO副議長)より、SSADシステム^(※)の開発はICANN75以降になると考えていること、ICANN75までにICANNによるSSADの評価に対する回答を準備したい旨の発言があり、ICANN75のGACとGNSOの会合でも情報のアップデートがあると考えられる。

※「SSAD(System for Standardized Access Disclosure)」正当な目的を有する者が非開示情報へアクセスするためのシステムのこと。現在のWHOISの代替システムと考えられている。

2. 主な議題

(4) その他

①ICANN理事会との会合

- Becky Burr(ICANN理事会メンバー)より、SSADシステムの運用設計については、GNSOの検討チームと理事会で積極的に意見交換をしていること、また、簡易版SSADシステムの設計に対して、GACなど他のコミュニティから何か意見があれば、それを積極的に意見の提供をいただきたい旨の発言があり、次回のICANN75会合において、何らかの情報更新があるものと考えられる。
- Jorge Cancio(GAC副議長)より、ICANNにおけるグローバルな公益(GPI)とその包括的取組について、マルチステークホルダーコミュニティモデルの中核にあるものは、「包括性」と「多様性」であること、GACの取組みの中で「包括性」を含んだ運用を検討していくため、今後も継続して議論が必要となる旨の発言があり、ICANN75でも継続して議論されるものと考えられる。

②GAC議長と副議長の選挙

- GAC議長及び副議長の改選が予定されており、6月16日から8月5日まで候補者を募集、8月29日から9月20日までGAC代表による投票を実施、9月のICANN75会合で選出される予定である。

参考URL

(1) ICANN74 GACリモート会合のコミュニケ(成果文書)

[https://gac.icann.org/advice/communiques/ICANN74 GAC Communique-zh.pdf](https://gac.icann.org/advice/communiques/ICANN74%20GAC%20Communique-zh.pdf)

(2) ICANN73 GACリモート会合報告会資料

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/20220426-ICANN/icann63-3-morishita2.pdf>